

令和 8 年度 第 3 回 北部公民館運営審議会
議事録

日 時	令和 8 年 9 月 1 5 日 (火) 午後 1 時 3 2 分～ 3 時 2 6 分
会 場	船橋市北部公民館 2 階 第 2 集会室

午後 1 時 3 2 分開会

開会

○北部公民館長

それでは、定刻となりましたので、これより令和 8 年度第 3 回北部公民館運営審議会を始めさせていただきます。

まず、配付資料の確認をお願いいたします。事前にお渡ししました北部公民館運営審議会資料（事業報告・事業計画）、公民館報。ご持参をお願いしました資料、お手元になれば予備がありますのでお申し出いただければと思います。大丈夫でしょうか。

なお、会議録作成のため、株式会社トークアトラスのスタッフが同席いたしております。

では、ここで委員長より一言ご挨拶をお願いいたします。

○朝隈委員長

皆様、こんにちは。はっきりしない天気が続いて、秋だか夏だか分からないうちに秋になったんですね。最近、耳慣れない言葉で、アンダーパスとか線状降水帯とか、しょっちゅう耳にしますけれども、この間の千葉県を皮切りにいろんなところで災害に遭っていますよね。北部は今まで本当に災害に疎くて、みんなあんまり真剣に考えていなかったんですけど、この間の大雨でかなり北部地区もやられたので、これはやっぱり「知らないわ」では済まない、他人事では済まされないことなんだと、いつでもどこでも災害は起きて被害者が出てしまうんだと、この間つくづく思いました。

避難場所がいろんなところに設置されました。船橋はすぐぱっとやれたかどうか分からないですけど、知らない人が結構地域にいるのではないかと。ここが避難場所ですよ、こうなったらここに行かなきゃいけないですよと、そういうのを公民館報か何かを中心に、改めて地域の人にお知らせする必要があるのではないかなと。災害が起きてからでは間に合わないもので、時々そんなことをお知らせしたほうがいいのではないかなと改めて思いました。

では、今年度第 3 回北部公民館運営審議会、これから始めたいと思いますので、皆さんのご協力よろしくお願いいたします。

○事務局（北部公民館長補佐）

朝隈委員長、ありがとうございました。

続きまして、北部公民館長よりご挨拶申し上げます。

○北部公民館長

北部公民館の片岡です。本日は皆様お忙しい中、当会議にご出席いただきありがとうございます。着座にて失礼します。

今、委員長からお話ありました内容と若干重なるのですが、先月 13 日、「令和 8 年 8 月千葉豪雨」という名前がつけましたが、千葉県で発生しました。委員の皆様、ご自宅等は大丈夫

でしたか。船橋は最大時間降雨量 61 ミリでした。私の自宅がある佐倉市は、船橋を大きく上回る 120 ミリでした。

先ほど委員長がおっしゃっていましたが、線状降水帯が居座って、千葉市と佐倉市、その辺はすごい状態になっていました。千葉県全体では残念ながら 13 人の方がお亡くなりになりましたし、自宅や車両が浸水等によって被害を受けた方が多くいらっしゃいます。この場をお借りして、心からお見舞い申し上げます。

この際の船橋の被害状況とか公民館の対応状況についてですけれども、市内は 13 日未明から 6 時間程度で 210 ミリ、最大時間雨量が 61 ミリ、これが 19 時から 20 時までの 1 時間でした。普通、河川等は 50 ミリ対応とよく言いますが、それを超えてしまっていたという状況です。公民館の対応としましては、休館中の館を除いて、13 日の 18 時から翌朝の 9 時まで避難所として開設しております。結果、28 施設で最大避難者数が 89 名、帰宅困難者数が 232 名、合計 321 人を受け入れております。

被害状況ですが、人的被害は中等症が 1 件、軽症が 1 件の計 2 件。住家の被害は 122 件。道路被害が 3 件。道路の冠水が 143 件。市が管理する河川が溢水したのが 8 件。道路上の被災車両は 30 台。農業被害は 1.1 ヘクタール。市の施設は雨漏りが 32 件、浸水が 7 件となっています。前 2 回の台風で開設した際は市内の避難者はわずかでしたが、今回は多くの市民や帰宅困難者が避難され、県内ではその後も大雨が何度かありました。県内では避難所を開設している市がまだある状況です。

今回の豪雨は非常に稀なもので予報が難しかったようですが、その後、石川県やまた千葉県にも戻って来たりしていますけれども、類似の線状降水帯によるものが多数発生していますので、発生原因の解析や今後の予測の向上を期待しつつ、避難の必要性が生じた場合は引き続き避難所として公民館を開設し、避難所として開設しなくても、市民が来館すればロビー等でお休みいただく等の対応は必要かなと思っています。

以上になります。本日は何とぞよろしくお願いいたします。

○事務局（北部公民館長補佐）

北部公民館長、ありがとうございました。

次に、本日の会議の成立の有無についてご報告いたします。本日は審議会委員からの欠席のご連絡はございませんでした。結果、本日の審議会は、委員 10 名中 10 名の出席をいただいておりますので、半数以上の委員の出席がございますので、船橋市公民館条例施行規則第 15 条第 3 項の規定によりまして、この会議は成立させていただきます。

次に、会議の公開につきましてお伝えさせていただきます。船橋市情報公開条例第 26 条及び船橋市附属機関等の会議の公開実施要綱の規定によりまして、当審議会も原則公開となります。

議事録作成のため、会議の内容を録音させていただきますので、あらかじめご了承ください。なお、議事録につきましても、後日、船橋市のホームページにて公開となります。ま

た、この会議の開催につきまして市のホームページで事前に公表し、傍聴人の定員を5名といたしました。本日は傍聴人の受付がございませんでしたので、以上となります。

それでは、委員長、よろしくお願いいたします。

議事（１） 事業報告（６月２３日～９月１４日）

○朝隈委員長

本日は傍聴人の受付はございませんので、議事進行に移らせていただきたいと思います。

ただいまより、令和８年度第３回北部公民会運営審議会を開催いたします。

では、議事に進みたいと思います。本日の議事は、お手元にある資料のとおりでございます。議事（１）「事業報告（６月２３日～９月１４日）」については、事業内容を事業計画のときに説明しているために、結果について報告を要する事項に絞るようお願いいたします。

では、議事（１）「事業報告（６月２３日～９月１４日）」について、北部公民館より順次ご説明をお願いいたします。なお、ご意見、質問等につきましては、８公民館の説明終了後に受けたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

では、北部公民館さんから、よろしくお願いいたします。

○北部公民館長

北部公民館の６月２３日から９月１４日までの事業報告を説明させていただきます。

青少年対象の事業です。１ページをご覧ください。「ふなばしハッピーサタデー事業」の８月２２日の「アニメと工作で学ぶ 環境教室」ですが、参加者は４名と少なかったものの、地球温暖化の啓発アニメを鑑賞した上で、太陽光でプロペラが回るヘリコプターを作製し、参加者はSDGsと太陽光発電利用等を学んでいました。また、その下の９月１２日の参加者数は１０名でしたので、ご記入ください。

次に、一番下の「豊かわっしょい！！～子どもまつり～」ですが、ご説明に際し、事前にお配りしております当館の館報「とよとみだより」、一番上の緑の一枚をおめくりいただきまして、右手に子どもまつりのご報告がございますので、ご覧いただきながらお聞きください。

昨年度は別の事業であった２つのお祭りを一体化させ、公民館の各部屋、豊富小学校の体育館、校庭を一体で利用し、２０種程度の様々な遊びや体験の場を楽しんでももらいました。参加団体は、豊富小・中学校PTA、豊富高校、船橋北高校、青少年相談員、スポーツ推進委員、生涯学習コーディネーター、委員長も所属されております茶道をたのしむ会、まこと保育園、豊富アスリート等、地域の多くの団体が参加いただき、また、学生ボランティアとして豊富高校・北高校から２０名以上が参加してくれ、このうち十数名は企画段階から参加し楽しんでいただいております。館報の写真のとおり当日は大変なにぎわいで、子供たちの笑顔が大変印象的でした。来年度も地域の学校等と相談しながら、今後も地域の皆様に地域のお祭りとして認知いただけることを目指してまいります。

次のページをお開きください。成人対象の事業です。一番下の「終活講座」は、例年実施し好評を得ている事業となりますが、今回も定員を上回る申込みがあり、参加者の相続関係などの知識の向上に資するものになったと思います。

次のページですが、高齢者対象の事業です。「豊富寿大学」では、豊富の歴史を学ぶ場として、郷土資料館学芸員を講師に、豊富小学校に展示されている農機具等を実際に鑑賞しながら、農村の郷土史に興味深く耳を傾けておられました。土屋委員、ご協力ありがとうございました。

次に、複数対象の事業です。「巡回児童ホーム事業」の6月27日は、0・1・2歳ぽかぽか広場、小学生わくわくタイム、いずれも台風のため中止となりました。

次のページをお開きください。「みんなでボッチャ体験」では、手軽に楽しめるユニバーサルスポーツを体験するものですが、当館の地域住民にかなり浸透しつつあり、目的の普及啓発とともに、参加者同士の親睦も図られています。

北部公民館の事業報告は以上になります。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、二和公民館さん、お願いします。

○二和公民館長

二和公民館の当該期間の主な事業について報告いたします。

初めに、青少年対象の「ふなばしハッピーサタデー事業」です。6月27日の「忍者修行道場」は、台風8号の影響により中止といたしました。こちらの講座は12月に改めて開催予定です。

続きまして、1ページの一番下でございますが、「読書感想文の書き方講座」を北図書館と共催にて開催いたしました。午前は小学1、2年生対象でしたので、こちらは親子での参加といたしました。保護者がいることによって、参加した子供たちも講座と一緒に集中できたのではないかと考えております。

次のページに参りまして、成人事業でございます。2ページの2番目、「デジタルデバイド対策事業教室」の参加者の記載をお願いいたします。参加者数11名となります。こちらはスマホの基本と詐欺対策ということで、スマホにまつわる誘導詐欺ですとか、警察官をかたる詐欺などの事例を紹介していただきました。日頃からよく使うスマホの落とし穴や危険なサイトへの誘導など、注意しても引っかけってしまうことや、我々も「私は大丈夫」ではなく、クリックする際に一旦止まって考えて、分からなければ相談してみるなど、勉強になる内容だったと思います。

続きまして、高齢者事業です。「二和寿大学」では、公開講座といたしましてサマーコンサートを開催しました。公開講座とすることにより、よりたくさんの方に楽しい時間を提供できたと考えております。記載はしておりませんが、ご参考といたしまして参加者の内訳が、寿

大学生が 115 名で、一般の参加者が 41 名となっております。

その下、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室 月曜コース」の 9 月 7 日でございます。こちらは大雨の影響で中止となりました。

次に、3 ページに参りまして、複数対象事業のご説明をいたします。「巡回児童ホーム事業」です。9 月 9 日は、0・1・2 歳ぽかぽか広場が 48 名、小学生わくわくタイムが 58 名です。記入をお願いいたします。

5 ページに参りまして、上から 2 番目の「親子で夏休みケーキ作りレッスン」でございます。こちらは日清製粉グループのフラワー手作り教室に講師をお願いして開催いたしました。評価など記載のとおりでございますが、夏休みの間の親子の交流を図る機会とすることができたのではないかと考えております。

次に参りまして、その下、「サークル活動支援事業」としてサークル見学・体験会を開催いたしました。公民館サークルを紹介する機会として 81 名の方が見学などに来られました。こうした見学会を通して会員増につながり、活動内容を地域の方に知っていただく機会になればと思っております。

そのほか、記載のとおりです。

二和公民館からは以上となります。

○朝隈委員長

ありがとうございます。

次に、海老が作公民館さん、お願いします。

○海老が作公民館長

海老が作でございます。

まず、青少年からでございます。「ふなばしハッピーサタデー事業」、9 回中の 3 回目を行いました。

続きまして、成人、「学びの糸口～心楽暮（こらぼ）」でございます。こちら 4 回の計画のうち最終が終わりました。評価といたしましては記載のとおりでございますが、最終的に参加者同士の仲間意識も芽生えていると感じ取れました。今後も継続して行っていきたいと思っております。

続きまして、「楽しく学ぼう筆ペン講座」です。こちらは 14 名の参加がございましたので、記入をお願いします。

続きまして、高齢者、「海老が作寿大学」、めくっていただきまして「シルバー料理教室」、に関しましては記載のとおりです。「生き生きと若々しく過ごすための教室」に関しましては、4 回計画して 4 回目が終わりました。評価は記入のとおりでございますが、講師の方たちがカラオケの会社でございますので、カラオケの機械を巧みに使いまして、参加者の評判も非常によく、認知症や生活習慣の予防に一定の効果があつたと見込んでいるところでございます。

続きまして、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」は、9月4日、27名の参加がございました。記入をお願いいたします。

続きまして、「いきいきサロン『花梨』」、こちらは9月7日になります。参加者17名でした。

続きまして、複数対象でございます。「ファミリー卓球」、「子育てプレイルーム」、こちらの子育てプレイルームの9月7日は、参加者13名でした。

続きまして、「巡回児童ホーム事業」でございます。0・1・2歳ぽかぽか広場と小学生わくわくタイムを行いました。

そして、「七夕コンサート」です。こちらは七夕ということでフルートとピアノを演奏していただいたのですが、爽やかな音色、また、館内装飾も職員と実行委員が頑張りました、七夕の雰囲気を参加者は味わったということでございます。

ページをめくっていただきまして、「卓球団体交流会」です。当公民館は卓球の団体が5団体ございます。その5団体が集合しまして、私は対抗戦をするのかと思ったのですが、団体メンバー全員でシャッフルをして、別々のチームの人たちで新しい一つのチームをつくって対戦をしていくという形式で行いました。けが人もなく非常に盛り上がり、チーム同士の交流も図れたいいイベントだったと思います。

海老が作からは以上でございます。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、小室公民館さん、お願いします。

○小室公民館長

小室公民館の主な事業について報告いたします。

最初に、青少年対象の「ふなばしハッピーサタデー事業」です。6月27日に予定しておりました「スポーツ雪合戦」は、人気が高く定員がすぐいっぱいになりましたが、残念ながら台風のため中止になりました。

7月25日には「夏休みこども環境講座」を実施しました。1部ではアニメ映像を見ながら地球温暖化とSDGsについて学び、2部ではソーラーカーを作製するなど、楽しみながら環境について学びました。

7月25日の「夏の夕べの会」は、小室中学校の校庭で参加者が持ち寄った手持ち花火を楽しみました。青少年育成会からひんやりゼリーや光るブレスレットのプレゼントもあり、日頃、花火をする場所や環境にない子供たちが親子や友達同士で花火を楽しんでいました。

8月には「ダイヤモンドアート教室」を実施しました。図案が描かれたキャンパスにダイヤモンドのようにカットされたビーズを番号に従って貼り付けてつくるアートで、小さなパーツを一つずつ並べていくことで、完成するときらきらと輝く美しいモザイク画のようになります。細かい作業ですが、熱帯魚やカメなど海の生き物のコースターづくりを熱心に取り組

んでいました。

次の「夏休み読書感想文教室」は、毎年開催しておりますが、読書感想文が夏休みの宿題の必須科目でなくなった影響もあるのか、定員 16 名に対し 6 名の参加者となりました。本の感動した箇所の書き出しから始まり、感想文を書くための決まりごとを参考に下書きを作成し、構成を考え、仕上げていきました。日頃から本に親しんでいる子と、そうでない子の差があり、子供によっては集中力が切れてしまう子もいましたが、全員 3 回とも出席し、最初は書き方が全く分からなかった子も、感想文を書く際に何に注意し、どのように組み立てていくのかのコツをつかめたのではないかと思います。参加者が少なくなっていることから、来年度は対象学年を増やしますが、講師が 1 人のため、子供たちに目が行き届くよう募集定員は 16 名から 10 名に減らす予定です。

次に、報告 2 ページに移りまして、成人対象として「朗読音楽劇場」をご覧の日程で実施しました。昨年開催し、非常に好評で再演を望む声が多かったため、今年は NHK 朝ドラ「ばけばけ」に合わせて小泉八雲をテーマに開催しました。「すばらしい朗読で、うっとりと豊かな時を過ごせた」、「無料でこのような会が聴けるのは大変ありがたい」など、次回開催を望む声が多く集まり好評を博しました。

続きまして、「ジャズ入門講座」です。昨年度開催した際に続編を望む声が多く寄せられたことから、今回はモダンジャズの世界について講座を行いました。講師による解説の合間にアナログレコードを試聴し、コーヒーを飲み、楽しみながらジャズの理解を深めていただけたようです。男性の受講者が 6 割を超え、アンケートには、「最高に楽しい時間」、「今後勉強のしがいがある」、「来年も楽しみにしている」との声を頂戴するなど、満足度が高い講座でした。

続きまして、「講談寄席」をご覧の日程で開催しました。講師は千葉市で活動しているアマチュア講談師の方々と、歴史物や人情物のほか、消費生活相談員による詐欺予防講談などもありました。「講談を生で聴くのは初めて」、「いろいろなジャンルがあって楽しかった」という声を頂戴しました。

高齢者、複数対象事業につきましては、3 ページに記載のとおりです。

小室公民館からは以上です。

○朝隈委員長

ありがとうございました。次に、八木が谷公民館さん、お願いします。

○八木が谷公民館長

八木が谷公民館の 6 月 23 日から 9 月 14 日までの事業について説明させていただきます。

最初に、青少年の「空き部屋開放事業」でございますが、図書コーナーでの子供の実習スペース事業があるため、今回も人数は 0 人となりますので、記載のほうをお願いいたします。

続きまして、「ふなばしハッピーサタデー事業」でございます。まず、人数の記載をお願いします。9 月 5 日（土）の人数ですが、11 名でございます。ふなばしハッピーサタデー事業

につきましては、7月にはスポーツ推進委員さんのご協力により卓球バレーを行いました。参加者は3名と少ないものの、保護者の方にも参加していただき、世代を超えて交流を楽しむことができております。また、笑顔や会話が多く見られ、参加者同士のコミュニケーションが深まる機会となっております。

8月には、みやさこどもまつりを開催いたしました。この講座は、中学生や高校生、また、地域の町会・自治会の大人の方が大勢ボランティアとして協力していただいております。参加した小学生等の子供たちは、ゲームコーナーの射的やプラバン、輪投げを元気よく行い、また、模擬店の焼きそば、かき氷、フランクフルトをおいしそうに食べておりました。地域のこどもまつりとしまして今後も継続していきたいと考えております。なお、「みやさこ」ですが、地域の管区の町名の頭文字を取ったものでございます。「み」が「みやぎ台」、「や」が「八木が谷」、「さ」が「咲が丘」、「こ」が「高野台」となっております。

9月はヒップホップダンスの講座を行いました。ふだん公民館に来ないような子供たちが参加しており、リズムに合わせて楽しく体を動かし、短い時間の中でも振付を覚え、最後には笑顔で発表することができ、楽しかったという声も多く聞かれました。

続きまして、報告2ページ、成人対象の「自宅でもできるスッキリヨガ」でございます。こちらでも人数の記載をお願いいたします。参加者数10名となります。

この講座につきましては当初6月に開催予定でしたが、台風のため9月に延期で今回実施をしております。6月のときの講座につきましては「梅雨を乗り越えるスッキリヨガ」でしたが、9月で梅雨という季語では合わないかなということで、「自宅でもできるスッキリヨガ」に変更して開催しております。なお、6月に申し込まれた参加者に9月に開催すると連絡したところ、ほとんどの方が参加の申込みをしていただきました。9月の開催日についても雨が心配でしたが、こちらは夜の時間帯で雨に降られることなく開催することができ、参加者の皆さんはとても熱心に講師の話を聞きながら体を動かしておりました。また、参加者からは「とてもよかった」という意見もいただきました。

続きまして、「新聞ばっぐ」講座でございます。こちらでも人数の記載をお願いします。人数は11名でございます。身近な材料である新聞紙を利用し新聞バッグづくりを行いました。新聞の柄や組み合わせによって一つ一つ異なる作品が出来上がり、参加者それぞれがオリジナルバッグづくりを楽しんでおりました。参考にこのようなものをつくりました（実物を提示）。新聞の良い図柄を選ぶのが結構大変でした。

○朝隈委員長

新聞から取ったんですか。

○八木が谷公民館長

新聞をそのまま、図柄をうまく合わせた形で。

○朝隈委員長

なかなかあか抜けていますね。

○八木が谷公民館長

結構しっかりしたものです。本来、取手をリボン等につくっているのですが、今回はリボンがないバージョンをお持ちしました。裏はこんな形になっているのですが、このような形でつくっております。2人1組のテーブルで行ったため、参加者同士の会話が深まり、交流の場にもなっております。

続きまして、報告3ページ、高齢者対象の「健康セミナー」でございます。高齢者を対象に健康に対する講座を地区社会福祉協議会や在宅介護支援センターと共催で行っております。7月にはがんに関する講座を、8月には腸に関する講座、9月には認知症に関する講座を行いました。参加者の満足度は高いものの人数が少ないので、周知を増やし、地域の方の目に届くように行っていきたいと考えております。

続きまして、中段の「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」、健康づくり課との共催事業でございます。こちらの人数の記載をお願いします。9月9日(水)人数が59名でございます。

続きまして、報告4ページ、「八木が谷寿大学」でございます。7月には交通安全教室・防犯教室としまして、船橋東警察の方に協力いただき、振り込め詐欺などの講座を行っていただきました。また、8月には文学講座としまして、船橋にゆかりのある太宰治と川端康成につきまして講義をしていただきました。船橋に身近な方のため、みんな熱心に聞き入っております。

続きまして、同じページの複数対象事業、「子育てサロン」でございます。9月7日の講座につきましては、こちらも大雨により中止となっております。

続きまして、その下、「卓球開放」でございます。9月の人数の記載をお願いします。9月の人数は38名でございます。

八木が谷公民館から以上でございます。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、三咲公民館さん、お願いします。

○三咲公民館長

三咲公民館です。よろしく願いいたします。三咲公民館の事業報告ですが、7月から休館のため、6月30日までに実施した事業の報告となります。

最初に、青少年対象事業の「ふなばしハッピーサタデー事業」ですが、6月27日に「アニメと工作で楽しく学ぼう 地球温暖化!」を実施する予定でしたが、台風7号・8号による避難所開設により中止になってしまいました。

「三咲公民館学習室」ですが、図書コーナーでの利用で学習スペースの対応ができたことから、空き部屋の学習室としての利用はありませんでした。

続きまして、高齢者対象事業ですが、「三咲寿大学」は6月24日に健康体操を実施し、今年度は3回実施して終了となりました。

次のページをご覧ください。「認知症予防教室」ですが、6月25日に今年度最後の4回目を実施しました。参加された方のアンケート結果でも肯定的で目的を達成できたと思います。

次に、複数対象事業ですが、「卓球開放」も6月26日が最後となりました。

「図書コーナー運営事業」は、休館前に図書の返却をしていただくため、貸出を6月10日までとしていたことから、記載の6月24日と28日は返却のみとなっており、利用者はおりません。

三咲公民館からの事業報告は以上となります。

○朝隈委員長

ありがとうございました。次に、松が丘公民館さん、お願いします。

○松が丘公民館長

松が丘公民館でございます。6月23日から9月14日までの事業報告について、資料に沿って主なものをご報告させていただきます。

まず初めに、報告1ページ、青少年事業です。中段にございます「夏休み読書感想文教室」は、小学校3、4年生を対象に全3回で実施しました。昨年度の課題を踏まえ、募集時から大好きな本、心に残った本を選んで参加するよう呼びかけ、児童自身が思い入れのある本と向き合うところから講座をスタートできたことは、今年度の工夫の一つです。本を読んでも、自分の思いや考えを文章にすることに難しさを感じる児童もいましたが、講師が一人一人に寄り添って丁寧に指導し、最終的に感想文を完成させることができました。生成AI等の活用が身近になる中、小学校中学年の時期に自分で考え自分の言葉で思いを文字にして表現する経験は大切です。今後もその力を育む機会として実施していきたいと考えています。

続いて、下段、成人事業、「夜も★『足裏リフレ講座』～足裏から心と体をほぐす～」です。こちらは、日中の公民館事業とは異なる参加者層にも利用していただきたいと考え、週末の夜間に開催いたしました。定員となった後も多数のお問い合わせがあり、40代から80代まで幅広い世代の方にご参加いただき、初めて公民館を利用された方も数名いらっしゃいました。講義と実践を通して、自宅でも取り組める健康づくりを学んでいただき、アンケートの満足度も高かったことから、夜間開催による新たな参加者層へのアプローチという点でも成果があったと考えております。

続いて、報告2ページ、中段、「色を選んで脳を活性化！はじめてでも楽しめる大人の塗り絵教室」です。9月9日の参加者数のご記入をお願いいたします。21名でございました。こちらは私も参加しましたが、実際に取り組んでみると、塗り絵の奥深さやニュアンスを感じ取り、何色かを塗り重ねていくため、思った以上に集中力を使います。講師の個性的でユニークな指導のもと、皆さん熱心に作品づくりに取り組み、お互いの作品を見せ合いながら自然に会話が生まれていました。作品づくりを通して参加者同士の交流にもつながる良い機会になったと感じています。

続いて、報告2ページ下段より高齢者事業です。「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」、報

告3ページ「松が丘シルバーリハビリ体操教室」、こちらはどちらも毎月1回定期的に実施しております。松が丘シルバーリハビリ体操教室について、7月15日の参加者数が29名とほかの回と比べて少なくなっておりますが、この回は松が丘では独自のプログラムとして年間3回予定されています和室での開催としておりまして、畳での座位や立ち座りがつらい、という声もあることから、和室開催をする際には参加者が減る傾向がございます。加えて、前日には熱中症警戒アラートが発表され、当日も暑さが厳しかったことから、自由参加の本事業への参加を見送られた方も多かったものと考えております。

次に、下段の「介護予防講座『楽しくトレーニング教室』」です。各回の前半では、お口の健康、認知症予防、栄養管理、フレイル予防について学び、後半は椅子に座ってできる脳トレや筋力トレーニングなどを実施しました。参加者の約3分の2を80歳代が占めており、アンケートでも「何度でも参加したい」などの声が多く寄せられました。高齢化率の高い松が丘地区の実情を踏まえても、身近な公民館で無理なく健康づくりや介護予防に取り組める機会は必要であると考えており、今後も継続していきたい事業の一つです。

続きまして、報告4ページです。「高齢者仲間づくり支援事業 ふれあいサロン」の9月10日の参加者数を申し上げます。19名です。お手数ですがご記入をお願いいたします。

その他の高齢者事業は記載のとおりです。

続いて、報告4ページ中段、複数対象事業です。「子育て支援事業 おひさま」の9月8日の参加者数、11名となります。こちらも記載をお願いいたします。

同ページ下段、「親子で陶芸に挑戦！」は、社会教育関係団体松が丘陶芸団体連絡協議会の皆さんにご協力いただき、小学生とその保護者を対象に作陶から絵付け、釉掛けまでを2回にわたって体験していただきました。定員の2.5倍の応募があり、親子で協力して作品づくりに取り組むとともに、普段の学校生活や家庭生活では得にくい創作体験や、子供たちが地域の大人と触れ合い交流する機会にもなりました。

続きまして、報告5ページ、「親子環境講座」です。今年度は環境問題への関心を高める学習と夏休みの自由研究への情報提供を柱に内容を組み立てましたが、残念ながら参加者は1名にとどまりました。今回の結果を踏まえ、講座内容や実施時期、周知方法についても講師と振り返り、今後の企画につなげてまいりたいと考えております。

続いて、中段、「親子中国料理教室～家族で本場の水餃子を作ろう！～」、こちらは多文化共生への理解を深める試みとして、夏休み期間に親子で水餃子づくりを体験していただきました。当日は国際交流課にもご協力いただき、国際交流課でインターンシップを行っていた学生さんにも参加者との交流や講座運営の補助に関わっていただきました。講師を中心に手厚く参加者をサポートする中で、食を通じて中国の文化を知る機会となりました。アンケートでは、全員から「満足」、「目的を達成できた」との回答をいただいております。子供たちが外国の文化に興味・関心を持つきっかけになったものと考えております。

続いて、同じく報告5ページの「松が丘シネマサロン」について補足いたします。8月5

日、26日に実施しました2回につきましては、前回審議会でお示しした事業計画には記載していなかった特別篇となります。市のクーリングシェルター事業と連動して追加で実施したもので、通常、隔月で開催しているシネマサロンに加えて、夏の時期に上映の機会を設けました。

続きまして、報告6ページ上段、「学習スペース提供事業」、こちらの利用者数は162名です。その下の「空き部屋開放事業」は空き部屋としての利用がなかったため、利用者数は0ということになります。

続きまして、「卓球バレー教室」です。9月11日の参加者数は16名です。ご記入をお願いいたします。こちらの事業について、資料の内容欄に卓球バレーの入門・交流としておりますのは、毎回、松が丘地区スポーツ推進委員会から2名、指導者・運営担当者としてご協力いただいております。参加も当日自由で初めての方も受け入れながら実施しています。今年度は8月末までに10回開催しており、そのうちの7回に初めての方の参加がございました。また、お一人当たりの参加回数は平均5.7回となっており、初めての方がいつからでも参加しやすく、また、継続して参加する中で交流や友達づくりとしてもつなげている事業です。

最後になりますが、「卓球開放」については、9月中のこれまでの参加者数ということで、人数のご記入をお願いいたします。36名です。施設を有効に活用しながら、地域の皆さんが気軽に公民館を利用し、体を動かしたり交流したりできる機会として、引き続き実施してまいります。

松が丘公民館からの事業報告は以上でございます。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、坪井公民館さん、お願いします。

○坪井公民館長

坪井公民館の6月23日から9月14日までの事業報告をさせていただきます。

まず、青少年事業の2つ目、「こどもサイエンス教室」でございますが、日本大学の坂本恵一特任教授をお招きしまして、2回シリーズで実験を中心とした講座を開催いたしました。アンケートでは、やはり化学の実験というのはなかなか自分ではふだんできないので、「できてよかった」、「楽しかった」といった声をいただいております。

次に、成人事業の「デジタルデバイド対策事業 触っておぼえる！スマホの基本と詐欺対策」でございます。スマホの基本操作を学んだ後に、詐欺対策を学びました。様々な詐欺の概要、そして、その対策として知らない電話番号には出ないことなどに関して説明がありました。詐欺につきましては、やはり関心が高く、積極的に質問をして理解を深めていく様子が見られました。参加者の不安感の軽減に役立ったものと考えております。

続きまして、次のページになります。「薬膳料理講座」でございます。様々な生薬や食材の効能について説明があり、また自分の体質についてチャートを使って診断するなど、興味深

い内容でございました。また、調理実習におきましては、知らない人同士が和気あいあいと楽しく取り組んでいる様子が見られました。応募者が定員の倍以上となりまして、健康への関心の高さを感じました。

次の「坪井小学校 PTA 家庭教育セミナー」でございますが、坪井小学校の PTA より実施の申し出をいただきまして、4 回にわたって実施するものでございます。第 1 回目は、「未来へつなぐ平和のお話会」ということで、腹話術によりまして被爆体験等をお話しいただきました。なお、この事業につきましては、前回の会議において計画のご説明をしておりません。PTA のほうから事業計画書の提出をいただきましたのが 6 月の下旬でございましたので、前回の会議におきましてはご説明の準備が間に合わなかったということでございます。申し訳ございませんでした。

続きまして、「多文化共生『異文化コミュニケーション講座』」でございます。お昼にかけまして水餃子の調理実習を行い、食事後に中国の文化について座学で学びました。餃子の皮を小麦粉からつくるなど、いろいろ手間暇かけた実習でございましたけれども、講師の丁寧な説明が大変好評でして、参加者は皆さん非常に満足されて、家でもつくりますといった声も伺えました。

続きまして、高齢者対象の「坪井みのり学級」でございます。9 月分の参加者数の記入をお願いいたします。40 名でございます。

次の「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」につきましては、6 月から 8 月までの参加者数が、それぞれ 28 名、26 名、23 名となっております。ほかの北部地区の公民館の資料を見ますと、多いところだと 1 回で 60 人程度来ているようなところもありまして、坪井は少ないほうの状況となっております。その理由につきましては、なかなかすぐに明確には分からないところですが、ほかの少ないところとの共通点ですとか、あとは多いところとの相違点等を、まずは確認してみたいと考えています。

この「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」の周知につきましては、現在、健康づくり課が作成したチラシを館内に配置しております。また、5 月に発行する館報におきまして、事業の実施予定の一覧を掲載するといったことをしております。館内にチラシを配置する際にもっと目立つようにするとか、みのり学級など高齢者対象の事業で高齢の方が集まったときに周知を図ってみるとか、そういった工夫をまずはしてみたいと考えております。

次の「介護予防教室 健康キープ体操」でございますが、4 回シリーズで運動機能向上のプログラム等を学びます。9 月は 2 回実施をしました。参加者数の記入をお願いいたします。9 月 3 日が 12 名、10 日が 11 名でございました。

次に、複数対象事業でございますが、「つばい・水と緑のコンサート」でございます。こちらは台風の接近に伴いまして、10 月 25 日に延期をしております。

次の「おはなしいろえんぴつ」、「おもちゃの病院」につきましては、ご覧のとおりでございます。

次のページに行きまして、「坪井公民館サークル活動支援事業」、最後の事業でございますが、7月1日から31日までサークルの自由見学や体験等を実施いたしました。周知方法や時期など昨年と同様に行いました。参加者数が昨年は32名でしたが、今回は15名と約半分となりました。昨年、1つのサークルで15名参加者があったサークルがございます。子供向けのチアダンスのサークルだったのですけれども、そちらのサークルが今回は参加者がいなかったということで、これだけで15名の減ということになっています。それが数の上での大きな要因ということになるのですが、ただ裏を返すと、ほかの団体の参加者が少ないということにもなりますので、今後どうしたら全体的に見学者が増やせるかということを考えてまいりたいと思っております。

以上、坪井公民館の事業報告でございました。よろしくお願いいたします。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

それでは、議事（1）につきまして、ご意見、ご質問等、何かございますでしょうか。

○荒井委員

二和公民館さんにお伺いします。二和公民館の高齢者事業で、「シルバーリハビリ体操教室」を月に2回開催しているんですけれども、各館での高齢化率が高い地区と平均的な地区、高齢化率が低いところもある中で、高齢者事業の内容や多さ等には違いがあるのかなと思うのですが、いかがでしょうか。

○二和公民館長

どの公民館でもシルバーリハビリ体操とか寿大学、認知症予防教室などは実施していると思います。また、各館でもその地域のニーズですとか人数などにより、いろいろ工夫して開催していると思います。二和公民館の管轄区域の高齢化率は平均より少し高い程度で26%ぐらいです。そうした中で地域からの需要もあってシルバーリハビリ体操教室を月曜日と火曜日の月2回開催しております。月曜日は健康づくり課の共催事業、火曜日はふなばしシルバーリハビリ体操指導士会さんと公民館とが協働して実施をしているところです。それぞれ60名から80名といった大勢の参加者が毎回おります。

また、別途、事業計画で説明する予定ですが、「健康講座」として北部保健センターと共催でいろんな講座を開催しております。それから、成人対象事業などでも高齢者の方の参加が多いという状況もありますし、高齢者の方の公民館参加の受け皿としては機能していると考えているところです。

ただ、逆に言うと、成人事業として想定している年齢が事業内容によって違うと思うのですが、大体30代以上からというふうにこちらは考えております。そうした対象年齢の方の参加が少ない状況もあったりはするので、これは本当に内容にもよるかとは思いますが、土日開催ですとか、場合によっては夜の時間帯に講座の実施をしたりして、あらゆる年代の方に参加してもらえるように対応しているところではあります。

○朝隈委員長

二和公民館さんは駅のすぐそばで、高齢者には交通事情がすごくいいですね。このシルバーリハビリ体操の人数ですけど、いっぱいになってしまうということはないんですね、何人来ても。

○二和公民館長

一応定員は 80 名です。

○朝隈委員長

80 名来ていますものね。

○二和公民館長

何人来てもいいということはないのですが、結構毎回いらっしゃっているし、健康づくり課のほうは月曜日ですし、もう一つは火曜日で、これはシルバーリハビリ体操指導士さんと協働でやっているんですけど、こちら結構いらっしゃいます。

○荒井委員

二和地区の中でも、主催は違うのですが社協の分室というのがありまして、そんなに広くないですが、そこでもリハビリ体操を 20 人ぐらいの定員でやっているというのを聞いていますので、結構利用は多いなど。

○朝隈委員長

それは指導者がついていますよね。

○荒井委員

はい、指導者がついています。二和地区って二和向台のところに公民館がありますけれども、結構離れているところもあるので、公民館まで通えないという人が分室でやっているというところもありますね。

○朝隈委員長

30 代から対象にしたい事業ってなかなか難しいから、最近夜やっているような公民館さんも結構ありますけれども、こういうものも夜間というのはどうなのでしょうね。試してみる必要は。

○二和公民館長

場所とか内容にもよりますが、例えばお化粧講座なんかですと、結構 30 代、40 代の方、昼間でも来ていただけます。ただ、それは土日でやっているという状況があります。夜だとやっぱり仕事帰りになりますけれども、二和公民館の場合、東京方面からちょっと遠いので、うちのほうは夜の事業というと映画会ぐらいしかありません。あとは、どうしても利用者が多いので夜でも結構団体さんが入っていて、そうした状況もあります。

公民館によっては離れている地域、例えばバス停から遠いとか、夜はちょっと危ないよというのもあるので、その辺は薬円台だとか、街中の辺りだとちょうどいいのかなと思います。どちらかという、夜というよりも、さっき言ったように、土日でターゲットを 30 代とかに

絞ったような内容でやると結構人は来たりはするので、そうした内容で実施しているところはありますね。ちょっと高齢者とは話が別になってしまいますけれども。

○朝隈委員長

交通条件から見たら二和が一番いいですね。北部なんかは遠いでもんね。来られないですよ。

○二和公民館長

交通条件が一番いいですね。

○朝隈委員長

いいですね。いいから、やっぱり人数は減らさないで欲しいな。

○二和公民館長

利用団体もどんどん多くなって、昨日もおとといも午前と昼はほとんど全部部屋が入っていたりするので、そういうのも含めたり、また、二和公民館は小ホールの利用があるので、講堂を発表会とかそういうもので使用することもあります。そういう利用も考えながら入れないといけないということもあり、その辺はちょっと苦慮しているところです。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

よろしいですか、荒井委員。

○荒井委員

はい。

○朝隈委員長

では、土屋委員。

○土屋委員

豊富小学校の土屋です。先ほど北部公民館の片岡館長からお話があった「豊富わっしょい！！～子どもまつり～」ですが、夏休み明けに本校の多くの子供たちから、「とっても楽しかった」という感想がたくさんあって、今回初めて同時開催した成果が大変見られたと思っています。

実際、公民館と学校のほうで同時開催なので、いろいろ回るところがたくさんあって、公民館の中も1階も2階も自由に回れたし、小学校の体育館、それから外というように、いろんなところに回れて、この地域の子供たちとか地域の方が楽しんでいる姿が見られて大きな成果だったなと思っています。

一方で、もちろん今回の意見とか感想をしっかりと取りまとめて、次年度以降どのような開催がいいのか、同時開催は続ける必要があるなど強く感じましたが、運営とかいろんな面で公民館と相談しながらやっていくのが、本当にすばらしい取組だったなというご報告でございます。

○朝隈委員長

私もここでちょっと協力しましたが、初めは「お茶」なんか来ないだろうと思っていたんですよ。お菓子はどれぐらい用意したらいいだろうなんて言っていたら、すごい人数が来ちゃって私もびっくりしました。だから私思ったんですけど、やっぱり人数が少ない少ないではなくて、企画とか対象者とかいろんなことを考えれば、来ないではなくて、来るんだなと思ったんですよ。だから、いろんな人にいろいろ聞きながら、この地域はこういうのだったら来るかな、この地域はこれをやっても駄目かな、だけど夜やれば来るかなとか、そういうのをいろいろ考えたら多分来るんだなと、私、実感しました。本当に楽しかったですよ。私もずっと手伝っていて、とても楽しかったです。子供たちとすごく接することができて、ありがとうございます。

○土屋委員

ありがとうございます。

○北部公民館長

ありがとうございました。

○朝隈委員長

ほかに何かございますでしょうか。

ほかにないようであれば、議事（１）について承認するものとしてよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

議事（２） 事業計画（９月１５日～１２月１４日）

○朝隈委員長

では、異議ないようですので、議事（１）「事業報告（６月２３日～９月１４日）」につきまして承認いたします。ありがとうございました。

それでは、引き続き、議事（２）に移らせていただきます。「事業計画（９月１５日～１２月１４日）」について、各公民館長から説明願います。なお、ご意見とか質問等につきましては、８公民館の説明終了後に受けたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

では、北部公民館さんから、よろしくお願いいたします。

○北部公民館長

北部公民館の事業計画について、主なものをご説明いたします。

計画１ページをお開きください。青少年対象の事業として、「クラブ活動支援事業（ウクレレ）」になります。豊富小学校の児童を対象に、北部公民館の登録団体であるウクレレサークル ハウオリの講師と会員が子供たちに教えていただいているもので、いよいよ後半に入ります。最終日には発表もございまして、これに向け子供たちにさらに腕を磨いてもらうことを期待します。

次のページをお開きください。成人対象の事業です。上から３番目の「初めての古文書体験

～江戸時代の古文書を読む～」と題し、江戸時代の風俗を学んでもらいます。この事業も例年実施しており好評を得ておりますが、講師や参加者にそろそろサークル化を働きかけようかと考えているところです。

次のページをお開きください。高齢者対象の事業です。「豊富寿大学」の11月、「フレイルってなあに？健康寿命を延ばそう」は、医師会の先生が直接講義に来ていただけることとなり、高齢者に知識を深めてもらういい機会となります。さらに健康寿命延伸につながる一助となってもらいたいと思っております。

次の計画5ページをお開きください。複数対象の事業になります。「ボッチャ交流会」は、船橋特別支援学校と船橋豊富高校の生徒、地域住民と一緒にパラスポーツをすることで、普及啓発を図るとともに、支援学校の活動等への理解を地域の方に深めていただくことも併せて期待するものです。

次に、下から2番目の「豊富地区体育レクリエーション大会」ですが、豊富地区連合町会が例年共催で実施しているもので、アンデルセン公園の協力のもと、園内でウォークラリーを実施します。参加者は家族等のグループで、園内のスタンプポイントを探索しながらポイントで指示された軽運動をクリアしていくことで、体を動かすいい機会になるとともに参加者同士の絆を深めていただくものです。

また、その下の「北部公民館利用団体文化祭」では、団体の日頃の文化活動の成果を発表・展示するとともに、地域の学校にも参加いただくことで、地域交流・学びの拠点の場である公民館としての年に一度の大きなイベントとなります。以前の会議でもご報告しておりますが、今回の発表では、閉館中の三咲公民館、高根公民館から3団体に参加いただくことが決定しており、北部ブロック内の公民館同士の交流も深められればと思っておりますので、委員の皆様もぜひ足をお運びください。

北部公民館からは以上になります。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、二和公民館さん、お願いします。

○二和公民館長

二和公民館の記載の主な事業計画についてご説明いたします。

まず、青少年対象でございますが、「ふなばしサッピーパーサタデー事業」は記載のとおりの実施の予定です。先ほどお話しさせていただきました12月12日に開催いたします忍者修行道場ですが、こちらは6月27日に開催予定であったものが台風のため中止となり、こちらに延期となりました。

次に、成人対象でございます。初めに、「三咲っ子サポーターズ家庭教育セミナー」です。こちらの12月の日程ですが、12月上旬となっております。報告の際に詳しくお話しさせていただきますが、一応12月14日（月）開催ということで日程のほうは決定いたしました。内

容につきましては、また次回の報告のときにさせていただきたいと思っております。

次、2ページに参りまして、真ん中辺り、「歴史講座」を開催いたします。こちらでも毎年開催しているものですが、内容等を変えて実施しております。今年度、初回は座学にて徳川家ゆかりの戸定邸を学んで、2回目で現地を訪れる講座としております。二和公民館から京成松戸線で比較的近く、行くことができます。近隣の地域を学ぶ機会になるのではと考えております。

その次、高齢者事業です。「二和寿大学」、また、3ページに移りまして、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」などを実施予定でございます。

次、4ページに参りまして、一番上でございます。先ほどお話をさせていただきましたように、「健康講座」として、「心も体もスッキリ！眠りを誘う健康講座」を開催いたします。北部保健センターとの共催で実施いたします。地域の方の心と身体健康アップにつながればと考えております。こちらは高齢者に入れておりますが、40歳以上で募集をしております。また、定員が70名と記載しておりますが、60名でございますので、修正をお願いいたします。

次に、複数対象事業でございます。6ページに参りまして、真ん中辺りの「親子そば打ち体験」を、当館の社会教育関係団体である二和そばの会を講師として開催いたします。

それから、6ページの一番上の「第52回二和文化祭」です。こちらは3日、4日開催なのですが、例年ですと駐車場にキッチンカーを呼んで開催しておりました。今年度は駐車場等を含めて改修工事で、第2駐車場が去年まであったのですが、それがなくなってしまい、当施設は図書館との複合施設となっておりますので駐車場に関しては大変利用が多いため、今年度は館内のみでの開催を予定しております。

最後でございます。「防災教室」を開催いたします。最近の台風や大雨などがありますが、防災意識の向上を図るために、親子で非常時の簡単な食事づくりを行う予定でございます。

二和公民館からは以上です。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、海老が作公民館さん、お願いします。

○海老が作公民館長

海老が作公民館から事業計画を報告させていただきます。

まず、青少年、「ふなばしハッピーサタデー事業」を、この期間2回実施いたします。

続きまして、成人の部、「筆ペン講座」です。こちらは3回中の2回行いますが、非常に人気の高い講座になっております。キャンセル待ちが多数発生しておりますので、来年度はまた違う形でできたらと計画しているところです。

続きまして、「自然観察教室」、「就学時健診等における子育て学習」は以下のとおりに予定しております。

ページめくりまして、「市民企画講座一元気が出る生涯学習講座」でございます。こちらは

13日に「墨田川の風景・橋めぐり」を座学で行いまして、11月20日は、両国橋・永代橋の散策を予定しております。

続きまして、「お花屋さんに習うフラワーアレンジメント」です。こちらも毎年恒例として行っておりますが、非常に人気が高いイベントとなっております。

続きまして、高齢者でございます。「海老が作寿大学」、全10回中3回を計画しております。

「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」、こちらも12回中の3回を計画しております。1回はヘルスマーケティングが入ります。

続きまして、「いきいきサロン『花梨』」です。こちらも期間内に10回中の3回を計画しております。

続きまして、「シルバー料理教室」です。料理が苦手なお父さんでもつくれる料理教室ということで、10回計画している中で3回実施いたします。

続きまして、複数対象といたしまして、「ファミリー卓球」。こちらは11回中の2回を期間内に行います。

そして、「クリスマスコンサート」。こちらが12月5日に計画をしております、ビブラフォンコンサートを実施します。このビブラフォンというのがちょっと分かりづらいと思いましたが、ご説明させていただきます。皆さん、木琴とか鉄琴はご存じだと思いますが、鉄琴の下に共鳴管という管がついておりまして、要は音を共鳴させる装置がついております。電気のモーターを入れるとビブラートがかかる、そのような仕組みで音の響きを変えられる鉄琴と思っていただければと思います。こちらのコンサートを実施する予定としております。

続きまして、「巡回児童ホーム事業」です。0・1・2歳ぽかぽか広場を2回、小学生わくわくタイムを3回計画しております。

続きまして、「子育てプレイルーム」を3回計画しております。

最後ですが、「海老が作公民館まつり」です。こちらは現在調整を行っているところで、館内のほうにもぎやかにみんなが喜んでもらえるよう展示とか計画をしている最中でございます。また、発表のほうも多数の希望がございますので、非常に楽しいイベントとなっております。

海老が作からは以上です。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、小室公民館さん、お願いします。

○小室公民館長

小室公民館の主な事業計画についてご説明いたします。

まず、青少年対象事業としまして、「ふなばしハッピーサタデー事業」です。10月に「作って遊ぼう！～ハロウィン工作3種類～」を実施します。ハロウィンにちなんだプラバン、缶バッジ、お菓子かごなどの工作をします。11月には千葉県民球団 千葉スカイセラーズのオフ

ィシャルチアパフォーマーズ Sky Twinkle によるチアダンス教室を実施します。5歳から小学生を対象に実施し、最後に子供たちが習得したチアダンスを保護者の前で披露する予定です。

次に、成人対象事業としまして、「秋の夕暮れコンサート」を実施します。暑い時間を避け、夕方にゆったりとした心癒される音楽を楽しんでいただけるよう企画しました。シルバーウィークの最中、しかも5時から開演という初めての試みでしたので、どれぐらいの申し込みがあるか気をもみましたが、すぐに満員となりました。

計画2ページに移りまして、高齢者対象事業は、「小室寿大学」、「料理サロン」などをご覧の内容で開催いたします。

複数対象事業としましては、「小室公民館本館家庭教育セミナー」で、10月に「いのちのコンサート」を開催します。ピアノの演奏に乗せて犬や猫をテーマとした絵本をスライド投影するコンサートで、ペットを飼うということ、いのちの大切さを子供たちに伝えていく狙いがあります。

12月には多文化共生事業として、国際交流員による水餃子づくりを実施します。親子で中国文化を学ぶとともに、水餃子づくりを通しておいしいものをつくる喜びを共有し、家族のコミュニケーションを深める一助となれればと考えております。

計画3ページに移りまして、「小室公民館文化祭『第44回小室文化まつり』」をご覧の日程で開催します。公民館を利用している団体の日頃の成果を発表する場として、また地域の交流を深める場となれればと考えております。

次に、「小室公民館サークル活動支援事業」として、11月半ばから12月半ばにかけ、社会教育関係団体の活動の見学・体験会を実施します。文化まつりで活動に興味を持った方などがサークル活動に触れる機会となり、サークル活動の支援になればと考えております。

小室公民館からは以上です。

○朝隈委員長

ありがとうございました。次に、八木が谷公民館さん、お願いします。

○八木が谷公民館長

八木が谷公民館の9月15日から12月4日までの事業計画を説明させていただきます。

最初に、青少年対象事業の「ふなばしハッピーサタデー事業」でございます。10月には「ランタンの制作」としまして、ハロウィンにちなみましてカボチャや幽霊などの絵を描き、中にLEDライトを入れたものを作製する予定でございます。今日はサンプルをお持ちしました。こんな形で子供たちにつくってもらって、中にLEDライトを入れて使う形を考えております。11月には「飾り巻き寿司」としまして、小学生でも簡単にできるようなブードルの絵をつくる予定です。12月には「ケーキ作りと工作」としまして、ケーキはスポンジにクリームを塗りブッシュドノエルをつくる予定です。工作につきましては現在検討中となっております。

続きまして、1ページの下段、成人対象講座、「庭木の手入れ入門講座」でございます。公民館にあります樹木を教材として使い、午前中には講義を、午後には樹木を使いました実技

を行います。毎年人気のある講座でございまして、現在、定員を超える応募がございまして。

ページ変わりました、計画2ページの一番下の段、「緑豊かな谷津田を歩こう」、自然観察教室でございまして。身近な自然を歩きながら自然観察を行うもので、今回は金杉近辺の散策となります。

ページ変わりました、計画3ページ、「ハンドトリートメント講座」でございまして。手や指先のケアを通じてリフレッシュを図ることを目的としていまして、手の指とかツボとかを押す講座でございまして。

ページ変わりました、計画4ページの中段、「八木が谷寿大学」でございまして。高齢者の知識と教養を深め、健康増進に役立てるものでございまして。9月には津軽三味線コンサートを行い、ふだん聴くことのできない三味線の生演奏を体で感じていただければと思っております。10月には体操講座を、11月には映画上映を行う予定でございまして。

続きまして、4ページの一番下、「高齢者芸能大会・作品展」でございまして。地域の高齢者の発表の場としまして、手品や舞踊、カラオケの発表、写真や絵画、書道、切り絵等の展示を行います。文化祭とは別に行うもので、地域の高齢者の方の発表の場となっております。

続きまして、計画5ページの中段、「シニアリトミック」でございまして。こちらも高齢者の方が音楽を楽しみながら体を動かすことを目的として行うものでございまして。

ページ変わりました、計画6ページの中段、複数対象事業の「八木が谷公民館サークル見学・体験会」でございまして。近年サークルが少なくなっていることもありまして、サークルの活性化のため実施するものでございまして。今年は21団体が協力していただいております。

八木が谷公民館からは以上でございまして。

○朝隈委員長

ありがとうございます。次に、三咲公民館さん、お願いします。

○三咲公民館長

三咲公民館です。三咲公民館の事業計画についてご説明させていただきます。

休館中のため、成人対象事業として工場見学と小学校での事業を2つ計画しております。

1つ目の事業は海藻工場の見学、「地元の海藻工場を見学しよう」です。ワカメや昆布等の海藻の加工や製品化の過程等について、八木が谷にある株式会社リアスという工場の見学を行う予定です。二和向台駅に集合し、現地まで徒歩で向かいます。

2つ目の事業は、「就学時健診等における子育て学習」です。就学に向けての子供と保護者の準備・心構えとして大穴北小学校で行います。来年度入学予定の児童の保護者説明会に併せ、お子さんが健康診断を受けている間に保護者を対象として行います。

三咲公民館からの事業計画は以上となります。

○朝隈委員長

ちょっと寂しいですね。ありがとうございます。

次に、松が丘公民館さん、お願いします。

○松が丘公民館長

松が丘公民館でございます。令和8年度9月15日から12月14日まで実施予定の主な事業をご説明いたします。

まず、青少年事業です。「ふなばしハッピーサタデー事業」では、9月27日にパフォーマンスショーとバルーンづくり、10月にはニュースポーツ体験、11月にはヒップホップダンス教室を予定しております。パフォーマンスショーにつきましては、前回の計画では9月12日（土）の開催としておりましたが、9月27日に変更しております。これは、当初予定していた9月12日が松が丘地区連合町会敬老祝賀会と重なり、集会室を含め全館を使用することとなったため日程を変更したものです。10月17日のニュースポーツ体験会は、ボッチャを予定しております。

続いて、「クラブ活動支援事業」では、引き続き、小学校のクラブ活動に地域で活動する社会教育関係団体やスポーツ推進委員の皆さんに講師としてご協力いただき、和太鼓、茶道、ニュースポーツなどを通して、子供たちが地域の大人と交流しながら学ぶ機会として実施します。特に和太鼓クラブについては、公民館のサークル文化祭で指導に当たっているさくら太鼓の出演に児童も参加する予定で、クラブ活動での練習が地域での発表の機会にもつながります。

次に、成人事業です。「古文書講座」として、「身近なところから学ぶ！船橋の歴史とくずし字入門」を郷土資料館との共催で10月に2回実施いたします。今回は古文書の読み方だけでなく、船橋の歴史を学び、実際にまちなかで目にするくずし字を読んでみるなど、地域の歴史をより身近に感じていただける内容を予定しております。

続いて、計画2ページ、「そば打ち体験講座」では、社会教育関係団体の松が丘手打ちそばの会にご協力いただき、新そばを使ったそば打ちを体験していただきます。地域で活動する社教団体と連携し、参加者同士の親睦や交流にもつながる講座として実施します。

その他、成人事業は記載のとおりでございます。

続いて、高齢者事業です。計画3ページ、「松が丘寿大学」では、9月に昭和の名曲を取り入れた健康ボイストレーニング、10月には「遺跡からみる「ふなばし」～地元で埋まったロマン～」、11月には「船橋の美術～展覧会を10倍楽しもう！～」をテーマに鑑賞講座を予定しております。健康づくりに加え、地域の歴史や文化・芸術など幅広い分野から学ぶ機会を提供してまいります。

また、10月には今年度新規事業「松が丘寿大学『放課後部活動 文化部』」の2回目を実施します。資料にはございませんがご説明しますと、今回は「1300年前の貝で絵を描こう」と題しまして、文化課美術専攻学芸員を講師に迎え、船橋の遺跡から出土した貝を使ったワークショップを企画しています。寿大学での学びをさらに広げ、修了後も気軽に文化活動や交流できる場として設けるものです。地域とのつながりや生きがいをいづくりにもつながる取組として、今後の展開も検討していきたいと考えております。

その下、11 月には「働くシニアの仲間たち シルバー人材センターを知ろう！」を予定しています。高齢者の社会参加を促す機会の一つとして、実際に就労している方々の様子やシルバー人材センターの仕組みについて知っていただき、地域の高齢者が新たな活動に踏み出すきっかけづくりにつなげたいと考えています。

その他、高齢者事業は記載のとおりです。

最後に、複数対象事業、計画 4 ページをご覧ください。乳幼児親子を対象とした事業では、11 月に児童ホームと共催で、計画 4 ページ下から 2 段目の「オータムコンサート」を開催し、子育て支援施設のイベントでも人気のハープ奏者をお招きして、親子でハープ生演奏に触れていただく機会を設けます。

そして、計画 5 ページの上段、11 月には「松が丘公民館サークル文化祭」を開催し、その翌日からは、その下にございます「サークル見学・体験」を記載のとおり実施いたします。文化祭を日頃の活動の成果を発表する場とするだけでなく、発表をご覧になって自分もやってみたいと思った方を、翌日から始まるサークル見学・体験につなげることで、新たな会員の加入や、地域の皆さんが生涯学習活動を始めるきっかけにもしていただきたいと考えています。

そして、中段になりますが、12 月 6 日には地区社会福祉協議会との「福祉まつり」、こちらと併せて「オール古和釜ミニコンサート」を今年も開催いたします。地域の小・中学生をはじめ、松が丘地域で活動する団体などにもご出演いただき、音楽を通して世代を超えて交流できる地域交流の場として開催する予定です。

その他、通年の継続事業についても記載のとおり実施してまいります。

事業計画については以上でございます。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、坪井公民館さん、お願いします。

○坪井公民館長

坪井公民館の事業計画についてご説明をさせていただきます。

まず、青少年事業、「ふなばしハッピーサタデー事業」につきましては、9 月にはプラバン工作など、10 月はアニメと工作で地球温暖化について学び、11 月はアイロンビーズ工作を行う予定でございます。

次の「つばいハロウィンパーティー」は、児童ホームとの共催事業でございます。ゲームやペンシルバルーンの工作等を行う予定でございます。2 部制で定員は各回 50 名で実施いたします。

次の成人事業、「坪井小学校 PTA 家庭教育セミナー」につきましては、先ほども申し上げましたが、坪井小学校の PTA より申し出をいただき、4 回にわたって共催で実施するものでございます。4 回のうち残り 3 回を 10 月から 12 月にかけてご覧のとおり実施いたします。

次のページに参ります。2つ目の「地域防災講座」でございますが、1年に1回、防災に関する講座を町会・自治会の皆さんにご協力をいただきながら実施している講座でございます。今年度は非常食をテーマに災害時を想定した調理実習を行い、体験学習を行う予定でございます。

続きまして、高齢者対象事業、「坪井みのり学級」でございます。10月から12月にかけて、それぞれ「野菜を楽しみ、もっと健康に!」、「北斎・広重が描いた房総」、「船橋の民話と日本の民話」といった内容で実施いたします。

次の「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」、そして、次ページの「介護予防教室 健康キープ体操」につきましては、ご覧のとおり実施いたします。

次に、複数対象事業でございますが、「つばい・水と緑のコンサート」でございます。こちらは6月27日に実施予定でございましたが、台風の接近による休館に伴いまして、10月25日に延期したものでございます。6月は「Summer Concert」ということにしておりましたが、10月ですので「Autumn」ということで変えさせていただいております。

続きまして、「坪井公民館文化祭」でございます。今年度は11月21日と22日に実施いたします。

続きまして、「子育て支援事業『ハーブコンサート』」、そして、次のページの「子育て支援事業『絵本LIVE』」でございます。この2つにつきましては、子育て世代の多い坪井地区で、坪井児童ホームとの共催により幼児とその保護者に寄り添う事業として、昨年に引き続き実施するものでございます。内容につきましてはご覧のとおりでございます。

以下、「おはなしいろえんぴつ」、「おもちゃの病院」につきましては、ご覧の日程で実施する予定でございます。

坪井公民館の事業計画は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

それでは、議事(2)につきまして、ご意見、ご質問等、何かございますでしょうか。公民館名とページ数をおっしゃってください。

前田委員。

○前田委員

私、2つあります。

まず、1つ目、海老が作公民館の本年度の年度計画の中に、デジタルデバイド対策が3回予定されておりました。8月と10月と来年3月ぐらいですかね。今回の資料上、報告のところにも計画のところにもデジタルデバイド対策について出ていないのですけれども、何か都合により中止とか延期とか、そのようなことはあるのでしょうかというのが1点目です。まずこれをお願いします。

○海老が作公民館長

只今ご質問いただきました内容でございますが、デジタルデバイドというところで年3回計画しておりました。本来は実は10月に1回行う計画で進めていたのですが、講師と協議していく中で、いくつか事情のすり合わせがうまくいかないところがございまして、10月分を実施しなかったということが一つございます。この後、12月16日にキャッシュレスの講座を行いまして、3回目として3月に詐欺対策ということで、予定どおり実施する予定をしておりますので、ご報告させていただけたらと思います。

○朝隈委員長

振り替えをしたということですね。

○海老が作公民館長

3回計画していた1回目が、2回目と3回目と別の講師と協議を進めていたのですが、その講師の方と報償費の面で折り合いがつきませんでしたので、申し訳ございません、1回中止というよりは計画を取りやめたという形になっております。

○朝隈委員長

ということですが、前田委員、よろしいですか。

○前田委員

はい。では、もう1点。海老が作公民館の1ページ目の「自然観察教室」ですが、八木が谷のほうも計画の2ページ目に「緑豊かな谷津田を歩こう」ということで自然観察。これについては、今回は2館ですが、いろいろな公民館でこれまでもやってきました。北部エリアのほうで今年になってイノシシが見られましたが、あのイノシシがどこに行ったか分かりません。こういう里山の自然豊かなところを散策していて、ひょっとしたら出くわす可能性もないとは言えないと思うんですね。そのときに、とっさにどういう対応をするかというのは非常に大事なと思います。

それから、今年は夏から非常に雨が多い状態ですよ。やはり地盤が大分緩んでいて、歩いているところの足元も危ないところがあるかもしれないということで、大げさに言えば、危ないところに対する危機管理といいますか、そういうことに対して、こういう自然観察をする散策のときも危機管理を考慮した計画をお願いしたいなというのと、やはり参加する方に対しても、とっさのときにどのように対応するかというのを認識していただけるようお願いをしながら参加していただくとか、そういうことも必要ではないかなと思ったもので、今回手を挙げました。

○朝隈委員長

そうですね。私もう一つそれに付け加えたいのですが、危機管理とおっしゃったので、例えば外での活動、墨田川とかに行くのがありますよね。それは保険に入っているのかどうか。もし掛けていないのだったら保険を掛けて行ってもらいたいなと。そのためにお金が必要であれば、保険代として100円くらいいただくとか、そういう方向に行ってもらえないかなと私ずっと前から思っていました。これは保険を掛けていないんですか。いろんなところに行

かれていますけれども。

○海老が作公民館長

海老が作からご説明させていただきます。

最初の、外へ出る講座に関しましては、やはり講師の方とスタッフとで下見といいますか、危険なところがないか確認した上で回るとともに、あとはイノシシの話もありましたが、例えばイノシシが出ているようだったら、もちろん取りやめることもあると思います。先の準備を行ってから天候も見ながら実施するようにしたいと考えております。

なお、最後ご説明いただきました保険に関しましては、やはり外を歩くと転ぶことも多々あります。必ず保険には入るようにしております。方法としましては、参加者の人数が決まった段階で保険料というのが上下します。一応、今回、商品名に近くなってしまうけれども、レクリエーション保険というのがございまして、その人数に応じて保険料を決めた部分を先に公民館がお支払いをさせていただいて、後に参加者からその分をいただくという形で実際に保険に入っておりますので、ご安心いただけたらと思います。

ちなみに、金額のほうでございますが、非常にお安くできていまして、今回の両国橋の部分でいうと一人 50 円弱ぐらいで掛けられますので、ご安心いただけたらと思います。

以上でございます。

○朝隈委員長

ほかの公民館さんも皆さん掛けていらっしゃるということですね。多分、外に行くには下見は絶対していると私は信じているんですけど、下見なしでは連れて行ってないですね。ここが危ないか危なくないか、スポーツ推進委員さんや相談員さんが協力しているから、そういうことをやっていない公民館があったらやってほしいという前田さんのご意見もあるので、再確認していただいて実行していただければと思います。よろしくお願いします。

前田委員よろしいですか。

○前田委員

はい。以上です。

○朝隈委員長

ほかにごございませんでしょうか。

荒井委員。

○荒井委員

最初に片岡館長がおっしゃられた 8 月 13 日の災害のことですけれども、実はうちの前も道路に面しているのですが、冠水しまして、そのときに、頭では分かっていたんですけども、やっぱりすごく慌ててしまった部分がありました。「どうしよう、どうしよう」、「やばい、やばい」と言いながらやっていたんですけども、下水から上がってきた水が上がってきて、通りに面しているので車が通ると波が来て民家のほうに水が流れていくみたいな形で、床下浸水したお家もありますけれども、うちを取りあえずぎりぎり大丈夫だったんですね。そのと

きに避難するにもできなかったし、前もってそういう頭もなかったです。

ただ、これから先こういうふうなことが続くのかなと思ったときに、公民館さんで避難所を開設してやっていたのは分かっているんですけども、それぞれの公民館で、二和は駅があるので帰宅困難者だとか、そういう部分もあるかと思ひまして、取りあえずいろいろな再確認というか、公民館での避難所等の対応をもう一回知りたいなというのはあります。

○朝隈委員長

先ほども話したんだけど、やっぱり広報紙とか館報を出しているから、そういうところで頻繁に出してもらいたいですね。こういう感じだったら避難所を開設しますとか。

○荒井委員

ホームページを調べればすぐ出てくるんだけど、なかなか高齢者の人は……。

高齢者で車椅子を利用している方に、ああいうときってどうしたらいいんだろうと質問されました。ちょっと距離があって途中で冠水している場所もあったので、「取りあえず自宅で、車椅子で不便だとは思いますが、できるだけ高い位置にいてください。2階があれば垂直避難ということもありますので」ということは言っているんですけど、やっぱりその場になってみないと実感が湧かないらしく、もうパニックってしまったというふうな話も聞いています。小学校も避難所にはなっていますけれども、公民館でどのような対応をしているのかというのをちょっと知りたいなと思います。

○朝隈委員長

二和公民館長。

○二和公民館長

二和のお話でしたので、私から簡単に話してもいいですか。初めに北部公民館長からお話があったとは思いますが、全体的な話で8月の大雨のときに、二和公民館も十数名ぐらい避難者はいました。ただ、8月13日の雨は、先ほど北部の館長からもあったように急にざんざん来た状態だったので、その辺は難しい面はあったかと思いますが、家に水が迫っているという状況だとか、近隣が冠水して怖いという状況、実際に床下に迫っているという方もいらっしゃいましたので、そうした方々を受け入れたという状況はありました。

また、避難者ではないのですが、二和公民館が北図書館と併設館なので、図書館を使っている人、中学生なども含めて、当時、京成松戸線が1時間ぐらいだったか止まってしまった状況があって、そういうときに図書館が8時で閉館するので行き場所がなくなってしまうということで、避難ではないですが、公民館のロビーのほうに声をかけて来てもらって、もう公民館は避難所を開設していたので、移動していただいて、運行が再開するまで待つていただいたという状況もありました。たまたま9時過ぎぐらいには動き出して、その方たちは帰ることができたのですが、そうした状況もありました。

今回、二和公民館の最寄りの京成松戸線は、先ほど言った一部の時間を除いては動いてはいたので、地域の方で避難の方はいましたが、こうした方々には毛布を提供する、館によって

は水を提供するなどして、部屋で避難して宿泊された方がほとんどでした。途中でお帰りになった方も何名かいらっしゃいましたが、結構朝まで雨がずっと続いていたと思います。そうした対応を避難所開設ということで行っております。先日、9月の6日から7日も避難所を開設していて、このときは早めに呼びかけができて、前回、家の近くまで水が迫っていた方が、教訓といいますか、先に避難してきた方も数名いらっしゃったので、皆さんがそうした意識を持っていただき、公民館が避難所で開いているなというように考えていただければスムーズに避難ができるかと思うのですが、8月13日のときは、本当に急にザーッと線状降水帯でずっと朝まで続いてしまったという状況があったので、先ほど荒井委員がおっしゃったように、なかなか避難が難しくなってしまうということが発生したのではないかと考えています。

市内の防災無線でも流しておりますし、ホームページにも載せていますし、高齢者等避難情報が出たら早めに避難をとというようなお話もしています。その辺りも最初に委員長からあったように、周知をうまくできていけばいいかなとは考えています。

○朝隈委員長

ありがとうございました。人数はそんなに多くないから何とか対応できたと思うのですが、これがものすごい人数だったらということも想定して考えておかなければいけないのかなと私は思います。

私自身もそうですが、災害に関して他人ごとにはしか思っていなかったんです。今回は避難してきた人が少ないから何とか対応できたでしょうけど、これがすごい人数だったらできないですね。どうしたらいいんだろうと。だから、それができるような体制で準備しておかなければいけないのかなと、今回、千葉市のこととかいろいろなことがあって思いましたので、館長たちも大変申し訳ないのですが、もう私たちよりはお勉強されているんですよね。されているとは思いますが、再認識されて、ちょっとトレーニングじゃないけどやってほしいなと思うところはあります。

今回あんなふうになったことによって、それが終わったことではなくて、これからまたこんな災害が絶対来るのではないかと思いますので、公民館が中心になって、公民館に行けば安心できるんだと、こういうことがあったら公民館に行けばいいんだということを、地域の人たちに知ってもらって、対処してもらえたらいいのかなと思いましたので、よろしくお願いします。これから大変だと思いますけど。

○北部公民館長

補足ですけれども、JR 沿線の西船橋駅とか船橋駅という特に主要駅は、荒井委員がおっしゃったように多くの帰宅困難者が一時的に滞留いたします。よって、帰宅困難者の受入施設というのを危機管理課のほうで定めていまして、その受入施設の協議会に参加していた西部公民館は、100人ぐらいの帰宅困難者が記録されています。駅長から相談があったそうで、西部公民館は基幹館なので、人数が多いところで対応ができた。対応できたといっても避難

者カードとかは書いていられないのですが、とにかく受け入れて、休んでいただくということがあったそうです。

○朝隈委員長

そうですね。とにかく駅の近く、例えば二和公民館や三咲公民館には、やっぱり行きますよね。

○北部公民館長

一時的に受け入れざるを得ない。

○朝隈委員長

北部まで来る人はいないかもしれないですけど、やっぱり駅の近くは特に助けを求めて行くと思うので、いろんなことを対応してあげなければいけないのではないかなと思います。

○北部公民館長

あと、公民館の体制、市の体制としては、公民館職員だけではなくて非常参集する部署が、例えば二和にはこの部署が来るという決まりをつくって、年に一度は訓練をしています。

○朝隈委員長

北部は少し疎いようなところがあるような気がして、防災の講習会をやったって来ないですもの。人数が集まらないですよ。

○北部公民館長

委員もおっしゃっていましたが、水は低いところにたまるので一時的にはあるでしょうが、あそこまでというのは今までそうそうなかったと思います。10年以上前の台風のときは1回あったかなと思いますけど、北部ブロックにはとにかく低いところはそんなにない。反面、崖が怖いですけど。

○荒井委員

谷になっているところがあると、そこがやっぱり浸水しますね。

○朝隈委員長

忘れた頃に来るなんてよく言いますよね。東日本もそうだったですものね。しょっちゅう津波が来ていたんですよ、東日本も。それなのに、下に新日鉄さんか何かは何十メートルという防波堤をつけたでしょう。だから、みんな山から降りてきて下に家をつくったんだそうです。そうしたら、10メートルを越える津波でやられてしまったんです。想定外というのがあるんですよね。ここはないと思うけれども、分からないですよ。

○荒井委員

前も二和公民館で防災教室みたいなものがありましたが、やっぱり皆さん聞いていても他人ごとで、自分自身もここは二和向台で台地だから大丈夫だろうなんて高をくくっていました。数年前にゲリラ豪雨で水が排水し切れなくて出たことがあるんですが、それ以上だったので、はっきり言ってびびってしまいました。

○朝隈委員長

ですよね。だから、公民館長だけではなくて、皆さんも地域の人に公民館はこういう活動をしているよということを広めていっていただけたらいいかなと思いますので、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

ほかに何かご意見、ご質問ございませんでしょうか。

ないようであれば、議事（２）について承認していただくものとしてよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○朝隈委員長

それでは、議事（２）について異議がないようですので、「事業計画（９月１５日～１２月１４日）」につきましては承認いたします。ありがとうございました。

そのほかに何か、こんなことを質問したいな、この公民館にこんなことというのがあれば、どうぞおっしゃってください。

ないようでしたら、これで終わらせていただいてよろしいでしょうか。ありがとうございました。

事務局から何かあればお願いします。

その他

○事務局（北部公民館長補佐）

皆様、長時間にわたるご審議、大変お疲れさまでした。

この会議の議事録署名につきましてご説明させていただきます。今年度の議事録署名人である湯浅委員のほうでよろしくお願いいたします。

次回の開催は１２月１５日（火曜日）となります。場所は北部公民館です。

なお、会議の開催時間が通常の１３時３０分とは異なりまして、１５時からの開催となります。また、会議のご案内等につきましては、おおむね１か月前に発送いたしますのでご予約のほどよろしくお願いいたします。

それでは、今日の会議は以上となります。皆様、長時間のご審議お疲れさまでございました。ありがとうございました。

午後３時２６分 閉会